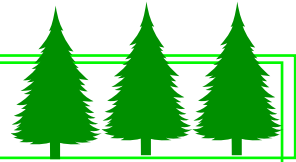


みつぎ便り



第166号 7月号 令和2年7月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



見次の会会員で相談の結果、各自自



花壇

昨年十一月に植え付けた花苗が冬から春にかけて美しく咲き、私達を楽ませてくれていましたが、五月末には、ほぼ寿命も尽き、その役目を終えてしまいました。

例年ですと六月には新しい花苗が配布されるのですが、新型コロナウイルスの影響で今回は中止となってしまいました。花の無い花壇を見るのはとても悲しく残念です。そこで

宅で思い思いのタネを撒き、移植できるまでに育ったら公園の花壇に移す事にしました。

すでにいくつかの種類の苗は大きくなり植え込みました。発育の早い種類や奥手のもの等色々ですが、成長に応じて順次苗を植え付ける予定です。小さなタネが芽を出し、か細い苗が少しずつ成長していく姿を皆さんと一緒に見守りたいものです。

やがてどんな花を見せてもらえるのかを心待ちにして、これからのコロナ対策で大変な暑い夏を、元気に乗り越えていきましょう。
(静)

アカバナユウゲシヨウ

今年は、いつもの年と違いコロナ禍で花壇の植え替えが出来ず、寂しい花壇となっています。それでも花壇の他の場所には、この季節にはいつも咲く、アジサイ、アヤメ、ユリなどの花々が咲いています。

今回は雑草ですが、小さくて可愛らしいピンクの花を紹介します。和名では、夕化粧(ユウゲシヨウ)と



言いますが、昼でも咲いています。オシロイバナ(白粉花)の通称「夕化粧」ともいわれ、紛らわしいのでアカバナユウゲシヨウで区別されています。

茎の上に四枚の花弁を持ち直径十㎜程度の薄いピンクの花が咲きます。原産地は北アメリカ南部から南アメリカで、日本へは明治に観賞用として渡米し、今では野生化し、本州の関東から西に広く分布しています。道端や空き地などに良く見かけますが、公園内では、集会所の建物の裏付近などで見られます。
(圭)